

全国専修学校各種学校総連合会 常任理事会

10月17日、東京都・全専各連事務局において全専各連常任理事会をオンライン形式で開催した。

福田益和会長が開会にあたりあいさつを行い、続いて会則第32条により福田会長が議長に就任し議事に入った。

審議事項として、「第1号議案 文部科学省「専修学校の質の保証・向上に関する調査協力者会議」への対応（専修学校の制度改正について）」では文科省の協力者会議において専修学校の振興に向けた議論が進んでおり、特に7月の協力者会議では専門学校団体側の提言が取り上げられたことにより全専各連としてもより具体的な制度の検討、それを見据えた事業計画の策定を行う必要から現状の共有と今後の方針について、石橋晶文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課長、中安史明同省専修学校教育振興室長、関口正雄全専各連常任理事・総務委員会委員長・職業教育の質保証・向上のための検討委員会委員長から協力者会議に関する報告が行われた。続いて「第2号議案 専修学校制度制定50周年事業について」では、令和7年度に専修学校制度制定50年目を迎えることから周年事業の実施にかかる基本的な事項について審議を行い承認された。最後に、事務局から文科省中教審諮問、令和6年度予算、文科大臣・副大臣・政務官等表敬訪問について報告。以上により、常任理事会を閉会した。